

カルテ資料
[キッズルーム]

●コミュニティ部会資料—キッズルーム—

■WSで抽出した意見

<初期構想>
 ○こども達が、気軽に安心して、遊ばせることができる施設づくり→交流
 ○特にも夏の暑い日と冬は切実に子連れでいられる場所があれば、子供たちは安心して遊ぶことができ、キッズルームを通じて親同士も交流が図られるキッカケの場になる

<WS発展意見>
 ・子育て支援・託児所機能を想定した意見
 ○子供だけで待ってられるように管理の目があるようにしてほしい。
 ○育児の相談ができる。託児機能がほしい。
 ○ファミリーサポートはニーズがあるので機能として入れてほしい。
 ○託児機能を付けるかどうかははっきり線引きをするべき。付けるのであれば管理する人が必要。
 ○キッズルームが広くて飲食できると、若い人たちが集まりやすい。

・一般的なプレイルーム運用を想定
 ○保護者が子供と一緒に遊ぶ(保護者が面倒を見る)
 ○部屋として区切らない方が目がゆき届く場合もある
 ○レイアウトにより親同士の交流の場に繋がる
 ○イオンでは130㎡くらいあり、それくらい欲しい!

・共通
 ○授乳・おむつ交換ができる部屋

■類似施設の傾向

施設名	プレイルーム(大)	プレイルーム(小)	託児室	授乳室	サポートセンター	倉庫	合計
北上市文化交流センター「さくらホール」	-	30	-	-	-	-	30
岩手県民情報交流センター「アイーナ」	-	60+30	-	-	200	-	290
村山市総合文化複合施設「甌葉プラザ」	90+99	-	35	21	50	17	312
塩尻市市民交流センター「えんぱーく」	130	-	30	-	53	7	220
川口やまゆり館	-	35	50	-	-	-	85
岩槻市複合施設ふれあいプラザ	97	-	-	-	-	-	97
横浜市東永谷地域ケアプラザ	-	45	-	-	-	-	45
横浜山下和泉地域ケアプラザ	-	48	-	-	-	-	48
遠賀コミュニティセンター	-	67+40	-	-	-	-	107
弘前市社会福祉センター	-	-	48	-	-	-	48
西那須町三島公民館	-	-	53	-	-	-	53
滝沢ふるさと交流館	-	65	-	-	-	-	65

設定	プレイルーム(大)	プレイルーム(小)	託児室	授乳室	サポートセンター	倉庫	合計
設定	-	60	50	10	-	15	135
最終案	-	60	0	10	-	15	85

大規模複合施設では子育て支援、託児所機能と一体的に整備されている事例も多い。
 全体規模はまちまちだが、プレイルームは小規模なもので40~60㎡、大規模なもので90~130㎡となっている。90~130㎡の事例は全体規模の大きさや、キッズルームの充実度の面から特殊案件と捉えると一般的な規模は40~60㎡程度が妥当と考えられる。

【最終案】
 施設規模見直しにより、やむを得ず託児室を減。
 託児室については、キッズルームと兼用し、必要なときにボランティアの方などが利用できる形態とする。(約85㎡)

■託児所の設置に関する基準等

・認可保育所とする場合
 児童福祉施設最低基準より
 第32条 保育所の設備の基準は、次のとおりとする。

- 1 乳児又は満2歳に満たない幼児を入所させる保育所には、乳児室又はほふく室、医務室、調理室及び便所を設けること。
- 2 乳児室の面積は、乳児又は前号の幼児1人につき1.665㎡以上であること。
- 3 ほふく室の面積は、乳児又は第1号の幼児1人につき3.3㎡以上であること。
- 4 乳児室又はほふく室には、保育に必要な用具を備えること。
- 5 満2歳以上の幼児を入所させる保育所には、保育室又は遊戯室、屋外遊戯場(保育所の付近にある屋外遊戯場に代わるべき場所を含む。以下同じ。)、調理室及び便所を設けること。
- 6 保育室又は遊戯室の面積は、前号の幼児1人につき1.98㎡以上、屋外遊戯場の面積は、前号の幼児1人につき3.3㎡以上であること。

・認可外保育所とする場合
 是正勧告を受ける最低限の面積が岩手県により設定されている。
 保育室の面積は乳幼児1人につき1.65㎡以上であること。

■託児室の面積設定(仮定)
 満2歳未満15人、満2歳以上15人の合計30人の保育所の面積を想定する場合





CASE-1 許可保育所とする場合
 乳児室 15×1.665㎡ + ほふく室 15×3.3㎡ ⇒ 約75㎡
 保育室 15×1.98㎡ + 屋外遊戯場 15×3.3㎡ ⇒ 約30㎡ (屋外は床面積から除く。)
 合計 105㎡以上 (他に調理室、医務室、便所必要)

CASE-2 許可外保育所とする場合
 保育室面積: 30人×1.65㎡/人 = 49.5㎡以上

想定する人数により面積が異なるが、事例から設定した面積についても、定員は30名程度となる。

■大型室内遊具の設置面積



大型室内遊具を設置する場合の人数と必要面積を一覧とした。これらに加えて大人が待機するスペース等も必要となる。

	基準対象人数	規模	イメージ
A	10名	33 m ²	
B	20名	120 m ²	
C	30～35名	260 m ²	
D	30～35名	208 m ²	

※対象年齢は6歳以下

■大型室内遊具の設置事例

大型室内遊具は民間の商業施設に加えて公共施設にも設置される事例もある。

名称	アメリカンスポーツ(岩手県北上市)
業種	アミューズメント施設
設置規模	幅 12.3m × 奥行 6.0m × 高さ 3.6m ⇒ 74 m ²
イメージ	
名称	荒川総合スポーツセンター(東京都荒川区)
業種	公共スポーツセンター
設置規模	幅 14.8m × 奥行 6.2m × 高さ 2.5m ⇒ 92 m ²
イメージ	

建物の一角に設けられているキッズスペース事例



■子育てサポートルーム／子育て中の方々が集まって自由に語りあふスペースとして利用できるほか、スタッフによるミニ催事も行われます。



■プレイルーム／子どもたちが自由に遊んだり、休んだりできるお部屋です。楽しいおもちゃなどが備え付けてあります。(対象年齢:就学前)



■乳幼児コーナー／サポートルーム利用者のほか、建物内での会議等に参加する方のお子様を保育するスペースです。保育者の同伴が必要です。

アイーナ



遊んでいる様子！



色々なキッズルーム事例



さくらホール



画像はイメージです

イオンファンタジーキッズガーデン



Dimension: 9600x7200x4500mm



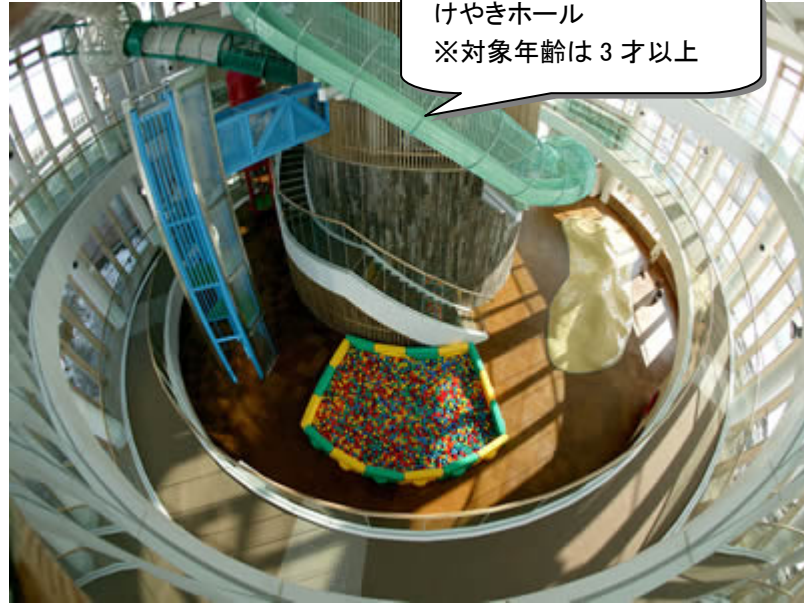
Dimension: 7200x7200x3500mm



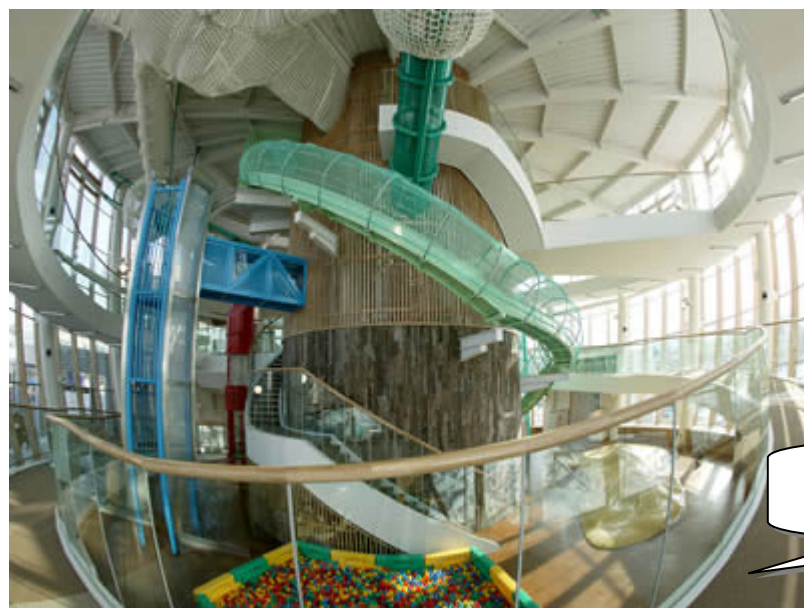
Dimension: 12000x12000x3200mm

屋内複合遊具事例

建物自体が児童館となっている事例

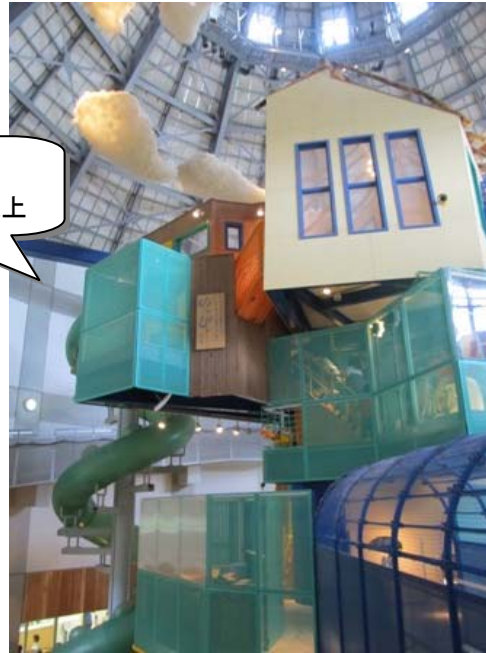


けやきホール
※対象年齢は3才以上



山形県東根市さくらんぼタクトクルセンター

のっぴい
※対象年齢は4才以上



ちびのっぴい



Copyright © 2008 +α的Blog

いわてこどもの森

1階からスロープで建物を周遊しながら3階まで移動でき、ちょっとした軽運動にもなっている。